

【No. 1】マーケティング戦略の発祥の地アメリカにおける、マーケティングの定義は、「マーケティングとは、個人と法人がそれぞれの目的を実現するために必要な交換を創造するため、アイデア・商品・サービスについて、 の4つの活動を計画し実行すること」(アメリカ・マーケティング協会)と謳っている。

次の記述のうち、 の部分に入る最も適当なものはどれか。

1. 発想・価格・促進・流通
2. 発想・価格・広告・流通
3. 発想・価格・促進・店舗
4. 発想・値引き・促進・流通

答. 1

【No. 2】小売業の変遷に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1953年日本初のセルフ型食品店として開業したのは紀ノ国屋である
2. 1968年にスーパーマーケットが百貨店の売上を抜いてから現在に至るまでその市場規模は維持されている
3. イトーヨーカ堂は、1970年に日本初のファミリーレストラン「デニーズ」を設立した
4. ダイエーは1975年に「ローソン」を設立し、コンビニ業界に進出した

答. 3

【No. 3】個人及び社会のニーズの変化を説明する仮説として、A. マズローの欲求5段階説が挙げられる。

次の記述のうち、最も高次元の欲求とされているものはどれか。

1. 自分の個性を最大限生かし、自分らしい暮らしをしたいという欲求
2. 人から認められ、尊敬されたいという欲求

3. 人から愛され、集団から疎外されたくないという欲求
4. 自分の住居など安定、安全な状態を得ようとする欲求

答. 1

【No. 4】 循環型社会の構築をめざして経済産業省が推進する「3R政策」に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. REDUCE（発生の抑制）
2. REUSE（再使用）
3. RECYCLE（再資源化）
4. REVIEW（行程の再検討）

答. 4

【No. 5】 日本の三大商人といえば、大阪商人、近江商人、 と言われている。

次の記述のうち、 の部分に入る**最も適当なものはどれか。**

1. 堺商人
2. 博多商人
3. 伊勢商人
4. 江戸商人

答. 3

【No. 6】 電子商取引（E C）市場に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. フリマアプリ市場は 6000 億円を越えている

2. 日本から中国への越境EC市場は1兆5000億円を越えている
3. 日本のスマートフォンによるBtoCのEC市場は全体の40%近くになる
4. 中国における越境EC市場は輸出超過になっている

答. 4

【No. 7】 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として小売業や飲食店が取り組んだサービスや事例に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 百貨店やスーパーマーケットがドライブスルーで生鮮食品等が購入できるサービスを導入した
2. 飲食店では、店頭でのテイクアウトや宅配サービス事業に乗り出した
3. 中古品買取り・販売業者がアパレル企業の滞留在庫を買取る「法人買取」サービスを導入し、オフプライスストア事業をはじめた
4. テナントがオーナーに支払う賃料を免除する法律が制定された

答. 4

【No. 8】 サステナビリティ (sustainability) とは、「持続可能な」という意味で、つまり「続けて保ちつづけることができる」ということである。また、「それは、私たちの社会と です。」とも言われている。

次の記述のうち、 の部分に入る**最も適当なもの**はどれか。

1. 自然環境
2. 地球環境
3. 情報環境
4. 生命環境

答. 2

【No. 9】「PL法」(PRODUCT LIABILITY: 製造物責任法)が1995年(平成7年)7月1日から施行された。これは、製品に欠陥があれば製造業者等に過失がなくても損害賠償を請求できるという意味で、製造業者に対し を負わせるという法律である。

次の記述のうち、 の部分に入る最も適当なものはどれか。

1. 有限責任
2. 無過失責任
3. 製造物責任
4. 過失責任

答. 2

【No.10】暮らしと商業に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ここ30年の間に、小売業の個人経営の割合は8割から4割に減少、商業の法人化が進展している
2. 取り扱い商品の内容により小売業を分類するのが業態であり、消費者の必要に応じて様々な商品を集積し、売り方を含めて分類するのが業種である
3. 日本の小売業の数は、欧米の先進国と比較して最も人口比店舗数が多い
4. 商品を仕入れ、消費者のニーズに合う形で販売することが小売業の具体的な活動であり、仕入れ、品揃え、販売の3つが小売業の基本的な活動となる

答. 2

【No.11】生活雑貨店に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 成熟社会となり日本の生活の多様化とともに様々な業態に進化している

2. 営業の目的がその企業、地域によって定型化されない業種であり、店舗のあり方はコンセプトを持たない多様な様相を現すものが主流である
3. 商品を全店一括で仕入れるのではなく、各店の販売スタッフが個々に仕入れを担当するシステムを仕入販売員制度という
4. 多様な商品を扱うので、見やすく、わかりやすく、かつ生活提案に役立つようなディスプレイは重要である

答. 2

【No.12】 ゼネラルマーチャンダイジングストア（GMS）に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. GMSとは1910年代にアメリカで出現した大衆実用品の総合店のことである
2. 日本では、衣・食・住に関連した商品を総合的に取り扱う大型スーパーマーケットのことである
3. GMSは、百貨店志向を強める業態や、ディスカウント志向を強める業態といったように細分化が進んでいる
4. 業界首位のイトーヨーカドーは全国13箇所でGMSの運営会社を経営するほか、マックスバリュールなどの大規模店舗も全国に展開している

答. 4

【No.13】 ファミリーレストランに関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 営業形態には、郊外ロードサイドのフリースタANDING型、SCやGMSの中に出店するインスタ型、オフィスビルなどのテナントとしてのビルトイン型がある
2. ファサードにおける特徴のひとつとして、サンプルケースがあり、ランチメニュー、コーヒーなどのソフトドリンク程度のサンプルディスプレイがある
3. 客席のテーブル配置は、ベンチ席などによってテーブルの移動可能なスペ

ースをつくり、テーブル席には子供や乳幼児連れを考慮しスクリーンなどで囲むように計画する

4. 一席あたりの面積は $1.35 \text{ m}^2 \sim 1.8 \text{ m}^2$ くらいが平均である。またテーブルサイズは 4 人掛けで $W=1000 \text{ mm} \times D=750 \text{ mm}$ が基準となる

答. 4

【No.14】 リサイクルショップに関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 一度使われた物を再び商品として販売するのがリサイクルショップである
2. 「ゲオホールディングス」は古着・総合リユースの「セカンドストリート」事業が成長し、売り上げが 1 位である
3. 「メルカリ」はリサイクルショップアプリである
4. リサイクルショップを開業するには古物商許可証の取得が必要である

答. 3

【No.15】 非店舗型のプロモーション、販売手法に関する次の記述のうち、**最も不適当なもの**はどれか。

1. ダイレクトマーケティングとは、通信販売（カタログ販売）、電話・郵便・メール・テレビ・新聞などのマスメディアなどを使った手法である
2. 現在のインターネット環境の中で、小売事業会社の独自のホームページによるプロモーション、販売が行われていることが多い
3. インターネット上の口コミ＝SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は影響力が大きくプロモーションツールには欠かせなくなっている
4. アマゾンや楽天市場などのインターネット大手のホームページに登録することで、小売事業会社の宣伝、プロモーションに役立っている

答. 4

【No.16】 商業建築の歴史に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 金沢のひがし茶屋街は、町屋の代表例である
2. 商業建築は、時代の暮らしや街のありさまと密接に関係している
3. 関東大震災後に、コンクリート造の看板建築が多く造られた
4. 明治維新後、和風と洋風の要素を持つ和洋折衷建築が各地で建築された

答. 3

【No.17】 環境に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建築が、生涯で地球環境に与える影響は、排熱、廃水、廃棄物などである
2. 二酸化炭素排出量の減少に伴い、地球温暖化による異常気象が引き起こされている
3. アメニティは、イギリスの中産階級の理想住環境がはじまりといわれる
4. フードロス、省エネに少なからず影響する

答. 2

【No.18】 商業施設の機能とデザインに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 存在をアピールするデザインが必要となる
2. 集客力を高めるデザインが求められる
3. 購買意欲を引き出すデザインが有効とされる
4. 環境負荷を軽減させたデザインは不要とされる

答. 4

【No.19】 ディスプレイ計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. ビジュアルマーチャンダイジング＝VMDは、2000年代にヨーロッパで提唱された視覚的訴求システムのことである
2. ディスプレイ計画には、生鮮品の陳列、博物館の資料展示、博覧会のパビリオン演出、公共空間などの造園も含まれる
3. ディスプレイデザインでは、季節感や商品の鮮度、什器類の選択と活用、照明機器の配列など、複合的な計画が必要となる
4. ディスプレイとは、動物や植物の世界でも確認されているコミュニケーション手法の一つである

答. 1

【No.20】 色彩計画に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. 基調となるベースカラーと組み合わせて、全体の雰囲気を見完するための色のことをアソートカラーという
2. 色の3属性で構成されているマンセル色体系は、美術家やデザイン界で幅広く活用されているが、日本工業規格＝JIS規格には採用されていない
3. 形の縁取りや空間の境界部分に配色し、全体を引き締める効果を与える色のことをトリムカラーという
4. カラースキームとは、色の配色や組み合わせ方を示す色彩計画のことである

答. 2

【No.21】 照明に関する次の記述のうち、**最も不適当な**ものはどれか。

1. ケルビン・・・光源の持つ光の色を表す色温度
2. ルーメン・・・明るさの度合いで光の量を表す
3. 演出照明・・・店舗照明での「地明かり」を表す
4. LED・・・光を発するダイオードを表す

答. 3

【No.22】 安全計画に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 避難経路は、避難による混乱を起こさないため、日常の動線（通常の歩行経路）と明確に区別する
2. 避難時の群集歩行速度は、一般に、1.0～1.3m/s 程度であるが、群集密度が高くなると低下する傾向にある
3. 不特定多数の人が利用する大規模な物品販売施設においては、出火したエリアから防火区画された出火していないエリアへ、一時的に水平避難できることが有効である
4. 商業施設においては、内外装、展示、装置、諸設備などの安全確認が必要である

答. 1

【No.23】 複合商業施設の内装監理業務に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 各店舗の竣工図書の取り纏め
2. 工事区分表の作成及びテナント区画図（白図）作成
3. 施工中の統括安全管理
4. 準備段階における関連諸官庁との打合せ

答. 3

【No.24】 監理と制作・施工に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. 商業施設の制作施工とは、発注者の意向に基づいて、設計者の設計図書に従って、施工を実現することである
2. 積算・見積り業務は、専ら発注者にとって欠くことのできない重要な位置づけにある
3. 商業施設はその本来の目的が常に変化していくため、工期、工程、使用期間など時間の概念をいつも念頭に置いてコトを進めることが大切である
4. 商業施設工事の場合、独創的発想のもとにデザインする場合もあるが、その材料の持つ性能、条件を生かした使い方に配慮が必要である

答. 2

【No.25】 技術動向と関連法規に関する次の記述のうち、**最も適当なものは**どれか。

1. 現場事務所での食事で発生した生ゴミは産業廃棄物である
2. BIMとは、計画・調査・設計段階から三次元モデルを導入し、施工・維持管理の段階でも連携・発展させるものである
3. ISO9001とは、組織が環境マネジメントシステムを確立し、文書化し、実践し、かつ維持することである
4. ISO14001とは、組織が品質マネジメントシステムを確立し、文書化し、実践し、かつ維持することである

答. 2

【No.26】 木工事における主な材料の仕様・特徴に関する次の記述のうち、**最も不適当なものは**どれか。

1. パーティクルボード・・・木材の小削片であるチップ、フレークなどに接着剤を塗布して成型熱圧したもの

2. フローリング ・ ・ ・ ・ ・ ファイバーボードと呼ばれ、インシュレーションボード、MDF、ハードボードなどに分類される
3. 合板 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 単板を奇数枚繊維方向に直交させて貼りあわせたもの
4. 集成材 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 大断面材や長尺物が可能。乾燥接着するために、割れ、狂いが生じにくい

答. 2

【No.27】 演出装置工事における特殊造形の用語に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. ジオラマ
2. レプリカ
3. パーゴラ
4. パノラマ

答. 3

【No.28】 下記のラベルは窓に貼るものであるが、このラベルの性能に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 熱貫流率
2. 結露防止
3. リサイクル率
4. 夏期日射取得係数



答. 3

【No.29】 木材に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. 木材は断熱性に優れた材料である
2. 準耐火建築物の主要構造部を木材とすることはできない
3. 木材を内装や外装に使うことを木質化という
4. 日本国内で産出された木材を使用することは地球温暖化対策となる

答. 2

【No.30】 監理・維持管理に関する次の記述のうち、**最も不適当なものはどれか。**

1. LM ・ ・ ・ ・ ・ リーシングマネジメント
2. CM方式 ・ ・ ・ ・ ・ コストマネジメント方式
3. P F I 方式 ・ ・ ・ ・ ・ プライベートファイナンスイニシアティブ方式
4. EMS ・ ・ ・ ・ ・ 環境マネジメントシステム

答. 2